

風しん予防接種を受けるにあたっての説明書

予防接種を受ける前にこの説明書を読み、効果や副反応をよく理解しましょう。

不明な点は、予防接種を受ける前に医師に質問し、十分理解したうえで接種を受けてください。

《風しんについて》

風しんは、風しん患者の咳やくしゃみに含まれる風しんウイルスによって起こります。潜伏期間は2～3週間です。軽い風邪の症状ではじまり、発疹、発熱、耳の後ろのリンパ節腫脹などが主症状ですが、成人で発症した場合、高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど小児より重症化することがあります。また、妊娠20週頃までの妊婦が風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群（先天性の心臓病、白内障、聴覚障害など）の子どもが生まれる可能性が高くなります。

《予防接種の効果》

予防接種を受けると95%以上の方が免疫を獲得することができます。

《予防接種の副反応》

主な副反応は、注射部位の発疹、腫脹、しこりなどの局所反応の他、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛、発熱などもみられます。まれに重い副反応として、アナフィラキシー（全身のアレルギー反応）、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどが生じる可能性があります。

《予防接種を受けることのできない方》

1. 明らかに発熱（37.5度以上）している方
2. 重い急性疾患にかかっている方
3. この予防接種によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
4. 妊娠していることが明らかな方
5. その他、医師が接種が不適当な状態と判断した方

《予防接種を受けるのに医師とよく相談しなくてはならない方》

1. 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気などの基礎疾患がある方
2. 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身アレルギーを疑う症状がみられた方
3. この予防接種の接種駅の成分に対してアレルギーを起こす恐れがある方
4. 過去にけいれん（ひきつけ）を起こした方
5. 過去に免疫不全の診断をされたことがある方及び近親者に先天性免疫不全の方がいる方

《予防接種を受けた後の注意事項》

1. 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。
2. 接種後4週間程度は副反応の出現に注意しましょう。
3. 入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
4. 接種当日は、激しい運動は避けましょう。

※接種後、異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。